

コレクションづくりの考え方・実際

中堅職員ステップアップ研修(1)(LIST)
領域2 第11・12回
2009年11月24日(火)9:30 - 16:00
日本図書館協会2階研修室
豊田高広(静岡市立御幸町図書館)

1

自己紹介

豊田高広(とよだたかひろ)

静岡市職員。美術館を振り出しに社会教育課・公民館を経て1994年から図書館に。御幸町図書館の開設準備に最初から従事。'06年4月から館長。ビジネス支援図書館推進協議会理事。

「教えるというより、一緒に学びましょう。」

著書「図書館はまちの真ん中:静岡市立御幸町図書館の挑戦。」(共著、勁草書房 2007)他

2

本日の日程

- グループ内自己紹介(9:30 - 9:40)
- 今日の研修のねらい(9:40 - 10:00)
- 模擬選書会議1(10:00 - 11:00)
- 講義1(11:10 - 12:00)
- 昼休み(12:00 - 13:00)
- 各班の発表と講師コメント(13:00 - 13:30)
- 模擬選書会議2(13:30 - 14:10)
- 模擬選書会議3(14:15 - 15:05)
- 講義2(15:10 - 16:00)

今日の研修のねらい

- 選書という集団活動を再現し、コレクションづくりに際し大切なことを考えます。
- 班員は今日一日、同じX市立図書館の選書会議メンバーです。
- 「仲良く」お昼も班員で一緒にどうぞ。
- 議論では妥協しないで！「仲良く」は、徹底的議論には信頼が不可欠だから。
- **結論ではなくあなたの気づきが重要です。**

講義の5つの視点

なお、講義では、特に「課題解決支援サービスに対応できる蔵書」を想定しつつ、5つの視点から選書について私見を述べます。

- コミュニティ本位の視点。
- コレクション(蔵書)づくりの視点。
- 「コペルニクスの転回」の視点。
- 「選書する私」の視点。
- 組織の仕事としての視点。

5

模擬選書会議ケース1 利用者をイメージして本を選ぶ。

ワークの流れ(10:10~11:00)

- 自己紹介
- 司会・記録・タイムキーパー決定
- 進行時間割決定

進行例:宿題発表 発表への質問 意見交換 ベストリスト選定(理由は明確に!) 気づきを話し合う 模造紙にベストリストを貼り、選定理由と気づきを箇条書き。別途、班記録カード(午後のケース2でも使用)を記入。模造紙は壁に張り出す

- 各班4分で発表。(13:00~13:30)

模擬選書会議ケース1

利用者をイメージして本を選ぶ。

- 選定は、リストに挙がった図書についてどんな利用が予想されるか、リスト製作者の論拠は妥当か、を重視してください。
- 選書の際、多数決はやらないでください。少数派は一人でも納得するまで抵抗を!
- とはいえ時間は限られています。多数決でなく、司会の責任で結論を出してください。館長になったつもりで!
- 気づきは、リストを作るときと、話し合いのときの両方について。では、開始!(へ戻る)

講義1-1 コミュニティ本位の視点(1) 職員本位を脱する

- 「コミュニティ(地域・学校等)の欲求・要求」と「図書館の使命」に基づき選書しよう。
- 職員の趣味や規範の一方的な押し付け(職員本位)になっていないか?
- 「顕在的利用者+潜在的利用者=コミュニティ」を知ることがあきまわっていないか?
- コミュニティの課題を知り解決に役立つという目的意識を持とう!(課題解決支援サービス)

8

講義1-1 コミュニティ本位の視点(2) 利用者をイメージする

資料を選ぶときは、どんな人がどんな状況でどう利用するのかイメージしよう!

- ポイントは、コミュニティを「区切って(セグメント)、絞って(ターゲット)、位置づける(ポジション)。(コトラー)。
- 新しいサービスは新しいセグメントから!
- 豊かなイメージには図書館内外でいる人々と接することがだいじ。

9

講義1-1 コミュニティ本位の視点(3) 欲求・要求を検証する

- 貸出傾向や各種調査から、コミュニティの特定セグメントの欲求・要求と「本に出会うリテラシー」(柴野京子『書棚と平台』弘文堂、必読!)について仮説を立てる。
- 仮説にもとづく実践(展示やPR活動)によって、利用者のリテラシーに「下駄」を履かせる。
- 分野別貸出点数、レファレンス、リクエスト等の動向から、仮説の有効性を検証する。
- 調査 仮説 実践 検証 …のサイクルを回しつつ、組織として学習する。

講義1-1 コミュニティ本位の視点(4) 東近江市立A図書館の事例

- '02年以降、貸出冊数漸減、一般書に問題。分類別貸出回転率の調査
 - 工業系資料(530 - 549)は回転率が高く、蔵書数が少ない・古い...なぜ?
 - 周辺の製造業従事者の人口比率が高い(調査)
 - 製造業従事者は工業系資料を求める(仮説)
 - 重点選書・面展示・テーマ展示で、半年で貸出点数を対前年比11%増やす。(検証)
- (嶋田学「サービス計画再点検」2009、「図書館問題研究会第35回研究集会発表要綱」所収)

11

講義1-1 コミュニティ本位の視点(5)

注意!

- コミュニティは一枚岩ではない。時代のキーワードは「多様性(ダイバーシティ)」!
- 「多様な、対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する」(図書館の自由に関する宣言)
- 「仮説・検証」サイクルによる選書は「今、利用が多いという事実」の後追いではない。

12

講義1-2 コレクションづくりの視点(1) 掛け算の選書へ

- 蔵書との四則演算を意識して選書しよう。
- 買い足すだけの足し算から、既存資料の付加価値を高める掛け算へ。(ex. レファレンスツールで他の資料の利用増)
- 蔵書をどう見せ、活かす? 「掛け算」除架で新古書店風「百均棚」脱出!
「課題への気づき」のしかけとしての棚
- 本や知の「大宇宙」との関係も意識。
例: 怪しげな情報の氾濫(健康、投資)

13

講義1-2 コレクションづくりの視点(2) 蔵書評価の視点

蔵書の評価には分野毎の「密度・速度・深度」の視点が有効(三村敦美論文『市場化の時代を生き抜く図書館』参照)

- **密度**: 利用や要求の大きさはどの位か
- **速度**: 資料の「賞味期限」はどの位か
- **深度**: どの位専門的な本が求められるか

14

講義1-2 コレクションづくりの視点(3) 医学書を例に

例: 医学の分野の本。(「みんなの図書館」2008年7月号、吉田倫子論文参照)

- **密度**: 要求の大きさに対して、量は十分か。分野間のバランスはどうか(民間療法が肥大しがち)
- **速度**: 求められる資料の鮮度に対して、資料が古すぎないか(耐用年数「5年」説)
- **深度**: 求められる資料のレベルに対して、入門書に偏りすぎていないか(横浜市の三段階選書)

15

講義1-3 「コペルニクス的転回」の視点(1)

- 「メディアの世界」の激変
= 情報の爆発的増大とデジタル化、社会における知的資源の重要性の高まりと情報格差
- 「課題解決支援サービス」の重要性の高まり
= 蔵書は「役に立つ情報」のごく一部に過ぎない!



- 図書館天動説から、図書館地動説へ!

講義1-3 「コペルニクス的転回」の視点(2)

- 図書館地動説: 公共図書館は、蔵書ですべてが足りる「総合病院」ではありえない!
公共図書館はネットワークを総動員してかかりつけの「患者」のQOLを高める「情報の町医者」!
- 公的機関としての信用と、敷居の低さを生かし、「最初に使う」情報サービス窓口。
- 専門的な情報探索のために、相互貸借から、相談窓口の紹介まで、専門機関と「つなぐ」役割も。

講義1-3 「コペルニクス的転回」の視点(3)

- 課題解決のために、ウェブ紹介を含む情報探索のレシピ(パスファインダー)や目録・索引作成等の情報編集が重要に。
- 「読書支援」のノウハウを生かしつつ、住民が「情報リテラシー」を培い、生かす場に。
- 何のための蔵書なのか? 問い直しを忘れずに!

模擬選書会議ケース2 3類開架の除架方針をつくる

- X市立図書館の3類(社会科学)開架の本が溢れています。現場から、除籍基準はあっても開架の整理の方針がなく判断に困るという声が出ています。そこで、3類の開架について方針をつくり整理することにしました。どんな点を注意すればいいと思いますか。(特に重要な点を5つ、箇条書きで)
- 討議25分、気づき5分を目安に。記録の方は、5か条を班記録シートの裏に書いて講座終了後、事務局へ。

模擬選書会議ケース2(参考) X市立図書館資料除籍基準

- 1) 所在不明のまま3年以上経ったもの
- 2) 貸出資料のうち3年以上回収不能のもの
- 3) 不可抗力の災害・事故で失われたもの
- 4) 汚損・破損が著しく、補修が不可能なもの
- 5) 内容が古くなり資料的価値がないもの
- 6) 利用が低下し今後も利用の見込みがない
- 7) 新版・改訂版の出版で代替が必要なもの

模擬選書会議ケース2(参考) NDCの3類

- | | | |
|---------|-----------------|----------|
| 30 社会科学 | 31 政治 | 39 国防、軍事 |
| | 32 法律 | |
| | 33 経済 | |
| | 34 財政 | |
| | 35 統計 | |
| | 36 社会 | |
| | 37 教育 | |
| | 38 風俗習慣、民俗学、民族学 | |

模擬選書会議ケース3 選書への市民参加の是非を論じる

- X市立図書館では1年後に分館の開設を予定しており、2万冊の図書を購入しなければなりません。館長から選書会議に、市民選書員の設置を検討するよう指示がありました。賛成組と反対組に分かれて、ディベートを行ってください。

模擬選書会議ケース3(参考) 市民選書員とは?(館長説明)

- 元・松本市立図書館長の手塚英男氏が「松本サリン事件と図書館の自由(3)選書権は、誰にあるか」(配布済)で提案した制度。類似した事業として、選書ツアーがある。選書ツアーについては、安井一徳『図書館は本をどう選ぶか』(勁草書房)等を参照。

模擬選書会議ケース3(参考) ディベートの実施方法

- 班内で、名簿が奇数番号の方は「賛成」、偶数番号の方は「反対」となる。
- 賛成派と反対派、それぞれで作戦会議を行う。分担(立論、反論、まとめ)をどうするか、どんな論点を挙げるか等。(20分)
- 実際にディベートする。(12分)
- 気づいた点を述べ合う。(5分)

模擬選書会議ケース3(参考) ディベートの実施方法

- テーマ「市民選書員を設置するべきだ」
- 賛成側立論(2分)
- 反対側反論(2分)
- 反対側立論(2分)
- 賛成側反論(2分)
- 賛成側まとめ(2分)
- 反対側まとめ(2分)

講義2-1 「選書する私」の視点 (1)

- 「選書する私」はどんな私か、ときどき意識しよう。
- 「選書する私」の中の検閲官、文学趣味、理科嫌いetc.がどこまで分かっているか。(カウンセラーは「自己一致」が大切という。)
- 何を学ぶか、誰の力を借りるかも、「選書する自分」が分かってこそ。
- 「選書する自分」を育てるには...最後で。

26

講義2-1 「選書する私」の視点 (2) 選書力とは？

選書力とは、図書館の目的に適ったコレクションをつくる能力のこと。

- 「本」や「知」の世界の見取り図がある。
- 蔵書のポリシーやクセが感覚的に分かる。(あのテーマはあのあたり...)
- コミュニティの要求や動向に関する仮説がある。

27

講義2-1 「選書する私」の視点(3) 選書力を磨くには？(仕事編)

- 迷う資料・気になる資料は、タイトルの意味、関連書の利用動向等を調べ、利用者をイメージ。
- ボーダー感覚を磨く！ボーダーライン上の本について調べ(できれば)読み、触れる。
- 棚(特に新刊、特集)や利用者を観察する。
- 会議等で同僚と資料について議論する。
- 選書ツールは隅から隅まで目を通す。

28

4 「選書する私」の視点(4) 選書力を磨くには？(生活編)

- 関心のある複数のテーマについて観測。
- 書店に通い、好き嫌いなく隅々まで観察。
- 本についての「本」を読む。(書評、出版界内幕物、PR誌、広告、ウェブ書店、ブログ、メールマガジン、SNS...)
- 著述家1000、出版社100、テーマ10(資格・検定等を利用)を5年くらいで...

29

講義2-1 「選書する私」の視点 (5) 選書力養成本

- 井上真琴『図書館に訊け！』(ちくま新書)：第2章第4節「どのように選んでいるか」一手にした資料の外的評価」は必読。
- 明定義人『本の世界の見せ方』(六夢堂、滋賀県高月町立図書館内)：手に入りやすいが。
- 伊藤昭治他『本をどう選ぶか：公立図書館の蔵書構成』(日本図書館研究会)踏まえるべき一冊。コラー他『社会が変わるマーケティング』英治出版、ドラッカー『非営利組織の経営』ダイヤモンド社も、余裕があれば...

30

講義2-2 組織の仕事としての視点(1)

選書は組織による継続的な活動だ。

- 選書の前提 = 図書館の使命は職員全体で共有されているか。
- 選書について話し合う場はあるか。
- 経験から得た知恵は引き継がれているか。

31

講義2-2 組織の仕事としての視点(2)

- これからの選書は、ますます利害関係者への説明責任と遵法(コンプライアンス)を求められる。「事業仕分け」を想起!
- あなたの図書館の使命と一致していれば、収集・提供してはいけない資料はない。
- 法的根拠のない「内輪の論理」による規制はそれ自体、法的責任を問われることも。(船橋市、熊取町、堺市の例)

32

講義2-2 組織の仕事としての視点(3)

- あなたの図書館の使命にもとづいて購入した資料を「見せるな」「捨てろ」と言われたときの組織的対応 = 危機管理を日頃から考えるべき。
- 組織レベルでもボーダー感覚を磨こう。(例: 「事件」が起これば早めに会議や研修で取り上げ、上司やパートさんにも周知)
- 『図書館の自由に関する事例集』(日本図書館協会、2008)を参考に。

33

講義の5つの視点

5つの視点は、あなたの選書を見直すきっかけとなったでしょうか。

- コミュニティ本位の視点。
- コレクション(蔵書)づくりの視点。
- 「コペルニクスの転回」の視点。
- 「選書する私」の視点。
- 組織の仕事としての視点。

34

気づきシートを書いてください。

- あなたの気づきを研修最終日までに「気づきシート」に記入して提出してください。
- 2月中旬に、みなさんに講師のコメントをつけたシートをお返しします。

終わり。

ご協力ありがとうございました。
この場で解決できなかった疑問に関するお問い合わせは、静岡市立御幸町図書館 豊田高広宛にメールでどうぞ。

36